

東京高速道路（KK線）の概要 について

東京高速道路(KK線)の概要(1)

- 戦後の銀座復興と渋滞緩和のため、銀座周辺の外堀、汐留川、京橋川を埋め立てて高架道路を建設
- 首都高との接続部には乗継所、料金所を設置。ETCでノンストップ通行が可能(都市高速道路網の一環として機能)
- 交通量は約3万台/日
- 東京高速道路株式会社は、道路運送法の自動車道事業免許を取得し、一般自動車道を運営
- 道路建設費と運営費をビル賃貸収益で回収し、通行料無料の自動車専用道路を提供
- 高速道路施設の敷地を東京都から賃借



<経緯>

	東京高速道路(株)
S26年12月	設立
S28年 8月	着工
S34年 6月	土橋～城辺橋間を一方通行で供用開始
S38年12月	蓬莱橋～紺屋橋間を相互通行で供用開始
S39年 8月	蓬莱橋にて首都高速羽田方面と連絡供用開始
S41年 7月	蓬莱橋～新京橋間全線供用開始
S48年 2月	首都高速八重洲線と接続



【東京高速道路株式会社】	
本社	中央区銀座一丁目3番先 北有楽ビル2階
従業員数	63名(H30.7.1現在)
売上高	37億900万円(H29)
事業内容	自動車道事業(一般自動車道)、 不動産賃貸事業

※東京高速道路株式会社ホームページより作成

東京高速道路(KK線)の概要(2)

- 道路設計については道路運送法の一般自動車道構造設備規則を適用(首都高速道路は道路構造令を適用)
- 設計車両重量は、20t対応(首都高速道路は、25t対応)
- 中央分離帯は簡易構造(道路構造令上は、往復車線の分離及び中央帯への柵等を設けることとなっている。)
- 大型車の通行規制を実施

東京高速道路(KK線)	
準拠基準	一般自動車道構造設備規則 (首都高は道路構造令)
車線数	東土橋～北数寄屋
	北数寄屋～新京橋 東土橋～東新橋
	片側1車線 (約0.7km)
	片側2車線 (約1.3km)
規制速度	40km/h
設計車両重量	20t
中央分離帯	コンクリート製中央分離帯、樹脂製中央分離帯ブロック、ポストコーン



※東京高速道路株式会社ホームページより

